

令和元年度環境月間「エコドライブのすすめ」実施結果

令和元年 7 月 22 日

苫小牧市環境衛生部環境保全課

1. 集計部署・人数

令和元年 6 月 1 日から 6 月 30 日までの 1 か月間、苫小牧市職員（正職員、再任用職員、嘱託職員、任期付職員）を対象に「エコドライブのすすめ」（別紙参照）各項目への取組みを実施した（報告対象：86 部署）。

報告職員 1,242 名のうち、53 名が「一度も運転する機会がなかった」と回答したため、運転職員数は 1,189 名となる（図 1）。

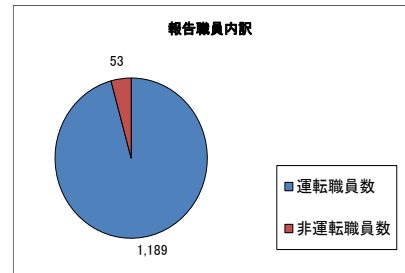


図 1 報告職員の内訳

2. 各評価の集計結果

「エコドライブのすすめ」（別紙参照）の項目ごとに「◎…90%実施した」、「○…60%実施した」、「△…30%実施した」、「×…実施しなかった」の 4 段階で自己評価を行った（図 2、表 1）。

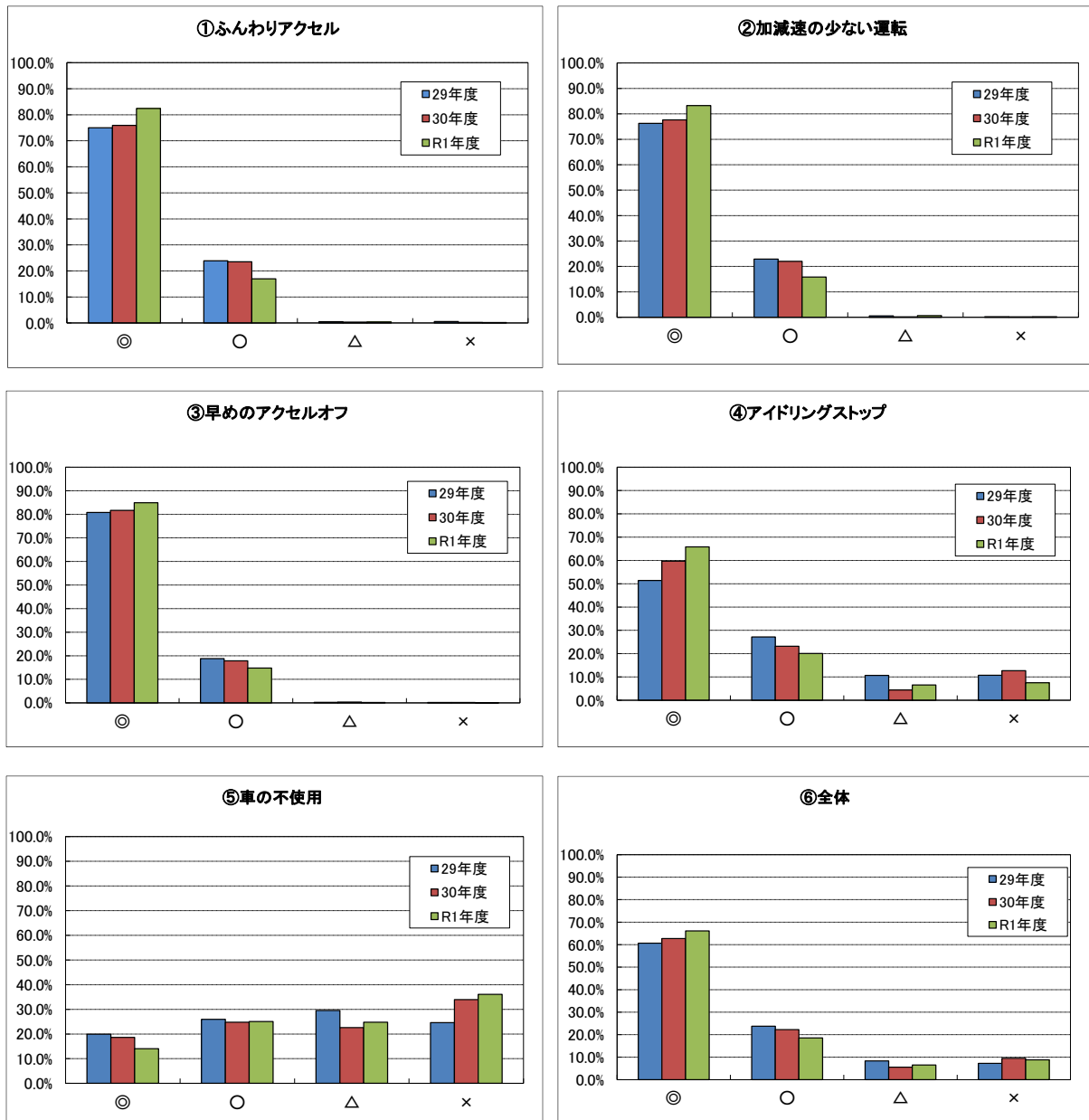


図 2 項目別評価における経年変化

表 1 項目別評価・総合評価

項目	評価別割合					総合評価(達成度/100)				
	自己評価	29年度	30年度	R1年度	前年度比	配点	29年度	30年度	R1年度	前年度比
①ふんわりアクセル	◎	75.0%	75.9%	82.4%	6.5%	×1	91	91	93	2
	○	23.9%	23.5%	17.0%	-6.5%	×2/3				
	△	0.5%	0.3%	0.4%	0.1%	×1/3				
	×	0.6%	0.3%	0.2%	-0.1%	×0				
②加減速の少ない運転	◎	76.3%	77.7%	83.3%	5.6%	×1	91	92	94	2
	○	22.9%	22.0%	15.8%	-6.2%	×2/3				
	△	0.6%	0.2%	0.7%	0.5%	×1/3				
	×	0.3%	0.2%	0.3%	0.1%	×0				
③早めのアクセルオフ	◎	80.8%	81.7%	84.9%	3.3%	×1	93	93	94	1
	○	18.8%	17.8%	14.8%	-3.0%	×2/3				
	△	0.3%	0.3%	0.2%	-0.2%	×1/3				
	×	0.2%	0.2%	0.1%	-0.1%	×0				
④アイドリングストップ	◎	51.4%	59.7%	65.9%	6.2%	×1	73	76	81	5
	○	27.2%	23.2%	20.1%	-3.1%	×2/3				
	△	10.7%	4.4%	6.6%	2.1%	×1/3				
	×	10.7%	12.7%	7.5%	-5.2%	×0				
⑤車の不使用	◎	19.9%	18.7%	14.0%	-4.6%	×1	47	42	39	-3
	○	25.9%	24.8%	25.1%	0.3%	×2/3				
	△	29.6%	22.6%	24.8%	2.2%	×1/3				
	×	24.6%	34.0%	36.1%	2.1%	×0				
⑥TOTAL	◎	60.7%	62.7%	66.1%	3.4%	×1	79	79	80	1
	○	23.7%	22.3%	18.6%	-3.7%	×2/3				
	△	8.3%	5.6%	6.5%	1.0%	×1/3				
	×	7.3%	9.5%	8.8%	-0.6%	×0				

※端数処理のため、前年度比の数値と実際の計算が一致しない部分あり

集計結果を前年度と比較すると、「◎」の割合がエコドライブに不可欠な①～④の項目で増えており、エコドライブに対する関心の高さがうかがえる。特に①ふんわりアクセル、④アイドリングストップの「◎」の割合が6%以上増加しており、自動アイドリングストップ機能を備えた自動車や、発車前・駐車後の不要なアイドリングの削減意識が普及した結果だと考える。一方で「○」の割合が前年度より3.7%減っているが、これは「◎」へ移行した結果だと考える。従来の自動車において、道路上の手動アイドリングストップは安全性に問題があると環境省も述べている¹⁾ため、発車前や駐車後の「不要な」アイドリングを削減するよう、より強調して呼びかける必要がある。

⑤車の不使用については「×」の割合が前年度比プラス2.1%という結果となった。この項目は例年実施率が低いため、闇雲に自動車の不使用を推進するのではなく、自動車に代わる交通手段の具体的な提案・推進が必要だと考える。

総じて「◎」の割合は増加しており、総合評価は前年度に比べ幾分改善され80点となった。

3. 取組による試算結果の比較

取組期間(1か月間)における燃料消費量及びCO₂排出量を試算し、「通常運転」と「エコドライブ」の場合を比較する。試算条件及び試算結果は以下のとおりとなる。

○試算条件

- ・年間走行距離は8,700km²⁾とする。
- ・燃料はガソリンとし、ガソリンのCO₂排出係数を2.3 kgCO₂/ℓ³⁾とする。
- ・車の燃費は「10km/ℓ未満」、「10-14km/ℓ」、「15-20km/ℓ」、「21km/ℓ以上」から選択する。

○試算結果

エコドライブの実践により、取組期間(1か月間)で、全体では燃料使用量13,894ℓ、CO₂排出量31,956kg、一人当たりでは燃料使用量11.7ℓ、CO₂排出量26.9kgの削減が試算された(表2)。これは、燃料1ℓ当たりの単価を142円⁴⁾とした場合、1か月間で1人当たり1,661円の削減となる。

表 2 燃料消費量及び CO₂排出量等の試算結果

	燃料消費量 (ℓ)	CO ₂ 排出量 (kg)
①通常運転の場合	71,803	165,147
②エコドライブの場合	57,909	133,191
③削減量 (①-②)	13,894	31,956
④削減率 (③/①%)	19.4%	19.4%
⑤一人当たり削減量	11.7	26.9

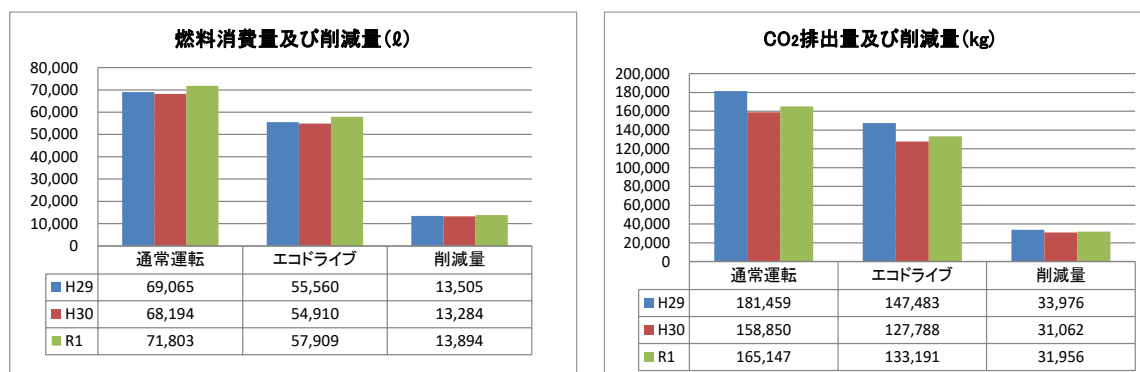


図 3 燃料消費量及び CO₂排出量等の試算結果の比較

- 出典 [1] 環境省「エコドライブ 10 のすすめ」
 [2] 国土交通省「自動車燃料消費量統計年報平成 29 年度分」
 [3] 環境省「算定・報告・公表制度における算定方法・排出係数一覧」
 [4] (一社)北海道消費者協会「令和元年 6 月分灯油・ガソリン価格調査結果」